

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 3年 3月 23日

事業所名 マザーズ城東

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		・活動や学習など目的毎にスペースを概ね分けています。	
	2	職員の配置数は適切である	○			
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		○		・2階にあるため。昇り降りの際には、必要なお子さんへはスタッフが補助しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		・より良い事業所運営ができるように、体制を整えて参ります。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		・週1回以上の頻度で社内勉強会を行っています。	
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			・各教室で年齢、性別、特性の偏りがあるため、どのようにして対応していくかは今後の課題。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		・プログラムは毎回、お子さんの特性を考慮した上で、毎月チームで作成している。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		・長期休暇には平日にできない活動を行っている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		・毎朝その日のプログラム内容や動きの確認を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		・終礼を行い振り返り内容は記録し次の支援の繋げている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			
	18	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○			
	22	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		・現在は親御様や相談支援事業所等からの共有で行っている。マザーズ城東は児童発達支援もっており、そちらから放課後等デイサービスの流れになっていくと情報共有はよりスムーズになっていくと思われる。	
	23	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○		(マザーズ城東では障害福祉サービス事業所への移行実績なしのため不明)	
	24	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		・連絡があった際には法人内で一人は参加するようにしています。	
	25	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		・公共施設を利用する際に関わることはあるが、頻度は少ないため今後の検討事項。
	26	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		・連絡があった際には法人内で一人は参加するようにしています。	
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		・当社開発アプリ「ブリッジ」を使って親御様とのより密な連絡を目指しています。	
保護者への説明責任等	28	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		○		・現在は送迎などでお話しをする際に親御様へ支援方法など共有しているものの、しっかり時間を取ってペアレントトレーニングをすることはできていない。こちらは今後の検討事項。
	29	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		・契約時に丁寧に説明させて頂いております。	
	30	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		・面談時、送迎時に可能な限りお話し伺っております。	
	31	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			・今年はコロナウイルスの影響があり出来ませんでしたが、来年度には保護者会の活動再開を目指しております。
	32	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	33	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		・来月の予定表、また活動内容の発信のための新聞を作成しております。	
	34	個人情報に十分注意している	○			
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			
36	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		・今後の検討事項としています。	

非常時等の対応	37	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している		○		・策定しているものの、まだ不十分であると思う。今後の課題として対応して参ります。
	38	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		・お子さんも含めて避難訓練のプログラムを行い、災害時に備えています。	
	39	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		・虐待についても社内勉強会を行っています。	
	40	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			・必要な場合には記載します (現在は身体拘束の対応を行うお子さんは在籍していないため、記載しておらず)
	41	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		・契約時にアレルギーなども含めてアセスメントを行っています。	
	42	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			